

# 令和3年度 総 会

開催日：令和3年6月10日(木)13:30～

場 所：相馬市LVMH子どもアートメゾン

**【持ち回り審議 令和3年5月27日～6月10日】**

## 次 第

- 1 開会のことば
- 2 理事長あいさつ
- 3 議長選任
- 4 議事録署名人選任
- 5 議事
  - (1) 議案第1号 令和2年度事業報告及び活動決算について
  - (2) 議案第2号 令和3年度事業計画（案）及び活動予算（案）について
  - (3) その他
- 6 その他
- 7 閉会のことば



**特定非営利活動法人  
相馬フォロアーチーム**

## 令和2年度事業報告書

### 【心のケア事業】

#### 1 事業の実施内容

震災による子どもへのPTSD対策や心理相談支援を行うため、カウンセラー（臨床心理士・公認心理師）が被災小・中学校及び相馬愛育園（令和元年10月15日から令和3年3月15日まで）、LVMH子どもアート・メゾンで心理相談活動を実施した。

また、被災した子どもに生きる力を育むための情操教育および社会性育成の支援を行った。

#### 2 事業の実施状況

##### （1）学校巡回カウンセリング

① 回数：延べ 260回

② 対象：中村第二小学校 85回、中村第二中学校 87回  
磯部小学校 44回、磯部中学校 44回

③ 内容：東日本大震災による津波等被害を受けた小・中学校を中心にカウンセラーが定期的に巡回し、児童・生徒とその保護者へのカウンセリングや教職員への助言等を実施した。

##### （2）LVMH子どもアート・メゾン並びに相馬愛育園における心理相談

① 件数：延べ 240件

② 内容：LVMH子どもアート・メゾン並びに相馬愛育園の相談室にて、18歳に達して最初の3月31日を迎えるまでの子どもを対象に、またその保護者を対象に子育て相談・心のケアを行った。

##### （3）相馬看護学校との連携事業

① 件数：延べ 7件

② 内容：相馬看護専門学校の学生に対し、心理支援活動を行った。

##### （4）心の相談会

① 回数：0回

② 内容：相馬市の保護者や支援者を対象にした相談会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止とした。

##### （5）関係機関との連携

① 回数：延べ 251回

② 内容：相馬市地域自立支援協議会（全体会1回、子ども支援部会7回）、教育相談員等支援者会議（2回）に参加した。その他、医療・福祉・学校といった関係機関との連携を行った。

##### （6）震災遺児・孤児に対するケア

令和2年度の震災遺児・孤児調査の対象児童・生徒は4名であった。当該児童・生徒においては1学期末と3学期末に、担任や養護教諭等から学校生活などについての情報を収集しカルテを作成した。作成したカルテは市教育委員会に報告をした。

### 3 事業実施の成果

津波被災地域の子ども、保護者、教職員等に対し心のケアを行った。子どもたちに医学的な診断・治療を要するPTSDの症例は確認されていない。しかし、震災から10年を経過した今でも、一部の子どもたちには、家庭環境の変化により精神疾患や発達障害様の症状を呈する例もあり、継続的な観察、カウンセリング及び心理社会的な支援が必要とされる。

今年度も津波被災地域のみならず、相馬市民の子育て相談施設として、その機能を果たすよう活動を行った。また新型コロナウイルス感染対策として、オンライン支援（電話相談やビデオ通話、メール、SNS相談）を導入し、徐々に活用されつつある。

#### 【学力向上事業】

東日本大震災で被災した相馬市内の中学生を対象に、東京大学学生ボランティアによる学習会（相馬寺子屋学習会）を年間13回計画したが、新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止とした。

#### 【交流事業】

相馬フォロアーチームの支援団体である大阪の「プール学院」との夏の交流事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止とした。

また、令和2年8月に東京大学本郷キャンパス等の見学を予定していたが、新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止とした。

# 令和2年度活動計算書

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取寄付金		0
受取寄付金		0
2 受取助成金等		0
受取補助金		0
3 事業収益	21,703,900	21,703,900
委託料収入		
4 その他収益	75	
受取利息		
雑収入	102,750	102,825
経常収益合計		21,806,725
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
給料手当	9,381,801	
法定福利費	1,365,672	
人件費計	10,747,473	
(2)その他の経費		
旅費通信費	334,910	
賃借料	1,083,872	
その他事業費	1,497,398	
その他経費計	2,916,180	
事業費計		13,663,653
2 管理費		
(1)人件費		
給料手当	5,081,810	
法定福利費	739,740	
人件費計	5,821,550	
(2)その他の経費		
旅費通信費	181,411	
賃借料	587,098	
減価償却費	1,245,979	
租税公課	986,400	
その他管理費	811,092	
その他経費計	3,811,980	
管理費計		9,633,530
経常費用合計		23,297,183
当期経常減少額		-1,490,458
当期正味財産減少額		-1,490,458
前期繰越正味財産額		10,260,535
次期繰越正味財産額		8,770,077

# 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	4,681,248		
未収入金	4,871,900		
流動資産合計		9,553,148	
2 固定資産			
車輛運搬具	4		
什器備品	124,907		
固定資産合計		124,911	
資産合計			9,678,059
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	846,502		
預り金	61,480		
流動負債合計		907,982	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			907,982
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		10,260,535	
当期経常減少額		-1,490,458	
正味財産合計			8,770,077
負債及び正味財産合計			9,678,059

# 財産目録

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1 流動資産</b>		
東邦銀行普通預金 (No.1035128)	4,681,248	
未収入金 受託料(相馬市)	4,871,900	
流動資産合計		9,553,148
<b>2 固定資産</b>		
<b>車両運搬具</b>		
スズキアルトF (福島580の4217)	1	
ホンダライフ(中古) (福島581の6267)	1	
フリードスパイク(中古) (福島502な4246)	1	
ハイゼットカーゴ(中古) (福島480ち5220)	1	
車両運搬具合計	4	
<b>什器備品</b>		
リコープリンター	1	
知能検査コンプリートセット	1	
知能検査セット	1	
事務所書庫	124,904	
什器備品合計	124,907	
固定資産合計		124,911
<b>資産合計</b>		9,678,059
<b>II 負債の部</b>		
<b>1 流動負債</b>		
<b>未払金</b>		
3月分 電話料	7,515	
3月分 水道光熱費	68,284	
3月分 社会保険料	314,603	
未払消費税等	456,100	
未払金合計	846,502	
<b>預り金</b>		
1~3月分 源泉税	61,480	
流動負債合計		907,982
<b>2 固定負債</b>	0	
固定負債合計		0
<b>負債合計</b>		907,982
<b>正味財産</b>		8,770,077

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正  
NPO法人会計基準協会)によつてます。

#### (1)消費税等の会計処理

税込処理である。

#### (2)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算に計上していません。

### 2. 事業費の内訳

(単位:円)

科 目	心 理 ケ ア 事 業	寺子屋ふれあい 事 業	プ ー ル 学 院 交 流 事 業	合 計
(1) 人 件 費				
給 料 手 当	9,381,801	-	-	9,381,801
法 定 福 利 費	1,365,672	-	-	1,365,672
人 件 費 計	10,747,473	0	0	10,747,473
(2) そ の 他 経 費				
旅 費 通 信 費	334,910		-	334,910
賃 借 料	1,083,872	-	-	1,083,872
そ の 他 事 業 費	1,497,398	-	-	1,497,398
そ の 他 経 費 計	2,916,180	0	0	2,916,180
合 計	13,663,653	0	0	13,663,653

事業の共通経費がある場合は、スタッフの従事割合で案分する。

## 監査報告書

令和2年度特定非営利活動法人相馬フォロアーチームの収支決算について、令和3年5月17日に預金通帳並びに領収書など関係書類をもとに監査をいたしました。

その結果、正確かつ適正に処理されていまして、ここにご報告いたします。

令和3年6月10日

特定非営利活動法人  
相馬フォロアーチーム

監事 反畑 正 博





## 令和3年度事業計画（案）

事業を展開するにあたっては、新型コロナウイルス感染防止の観点から縮小・延期・中止などの対応について十分考慮して進めてまいります。

### 事業内容

#### 1 心理ケア事業

##### (1) 学校巡回カウンセリング

相馬市内の東日本大震災の被害が大きかった小・中学校を中心に、相馬フォロアーチームのカウンセラーが定期的巡回し、児童・生徒とその保護者、教職員を対象にカウンセリングを実施する。

##### ① 対象校

中村第二小学校、中村第二中学校、磯部小学校、磯部中学校

##### ② 予定される訪問回数

- ・中村第二小学校・・・ 82回
- ・中村第二中学校・・・ 84回
- ・磯部小学校・・・・・・ 42回
- ・磯部中学校・・・・・・ 41回

##### (2) LVMH子どもアート・メゾンにおける心理相談

LVMH子どもアート・メゾン相談室において、18歳に達して最初の3月31日を迎えるまでの子どもを対象に、またその保護者等を対象に子育て相談・心のケアを実施する。

##### (3) 相馬看護専門学校との提携事業

相馬看護専門学校の学生に対し、心理支援活動を行う。

##### (4) 関係諸機関との連携

関係諸機関との連携として、関係諸機関との情報交換や研修会への参加（講師としての参加も含む）を行う予定である。

##### (5) 震災遺児・孤児に対するケア

関係諸機関と連携し、対象児童・生徒の経過を把握し、必要に応じて支援を行う等、遺児・孤児の成長を継続的に見守る。

#### 2 学力向上事業

被災した子どもたちの学力向上をサポートするため、相馬市教育委員会並びに東京大学と連携をしてボランティアの学生に協力をいただき、生涯学習会館、LVMH子どもアート・メゾンを会場にして「学習会」を開催する。

実施予定回数は9回とする。

#### 3 交流事業

東京大学キャンパス見学会を実施する。（令和3年8月）

# 令和3年度活動予算書(案)

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取寄付金		0
受取寄付金		0
2 受取助成金等		0
受取補助金		0
3 事業収益		23,320,000
市委託料収入		23,320,000
相馬看護学校委託料収入		200,000
4 その他収益		100
受取利息		100
経常収益合計		23,520,100
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
給料手当	12,460,000	
法定福利費	1,360,000	
人件費計	13,820,000	
(2)その他の経費		
旅費通信費	1,463,000	
賃借料	1,100,000	
その他事業費	1,130,000	
その他経費計	3,693,000	
事業費計		17,513,000
2 管理費		
(1)人件費		
給料手当	2,710,000	
法定福利費	410,000	
人件費計	3,120,000	
(2)その他の経費		
旅費通信費	526,000	
賃借料	600,000	
減価償却費	17,000	
租税公課	1,200,000	
その他管理費	544,100	
その他経費計	2,887,100	
管理費計		6,007,100
経常費用合計		23,520,100
当期経常増加額		0
当期正味財産増加額		0
前期繰越正味財産額		8,770,077
次期繰越正味財産額		8,770,077